

第13回杉並区における地上部街路に関する話し合いの会 ご意見カード

1	<p>①細かいことですが、区外の傍聴者が坐って待てるように会場外に椅子をふやしてください。(約束済です。)</p> <p>②中村司会者は、傍聴者に資料が行きわたるまで進行をすすめないこと。</p> <p>③細かいことだが、会場係の人は数人いるのだから手分けして4列に手ばやくくばること。</p> <p>④古川氏の都市計画提案に対するやり方は、近藤さんの言うように「やり方が汚い。いじめそのものである。」恥を知りなさい! 中島さんの言うように、この会では終ってない。まじめに回答を出すべきである。安西氏の最後の発言は住民の怒りの火に油をそそぐようなものだと思う。</p>
2	<p>古川さんの資料(資料 13-5 と 13-6)を印刷してあっても、はじめから配布していないのはよくない事だと思います。不信感を感じます。</p>
3	<ul style="list-style-type: none"> ・本日の会に出席していたコンサル関係者は何をする為に同席されていたのか説明のこと。次回からの出席可否は別途構成員間で協議すべき!!(出席すべきではないと考えます) ・古川氏の提案に対する都の説明を都から住民の前で直接説明すること!!(義務である)。 ・古川氏の提案に対する都の説明に反論している古川氏への解答をやりなおせ。 ・都の対応に誠実さがみじんもない!!
4	<p>時間配分して進めると決めたのだから司会者は、タイムキーパーをばしばしつとめて下さい。</p>
5	<p>私は環七沿いに住んでいますが、本道路が出来れば、南北のルートが便利となり、環七の渋滞緩和にも寄与すると思いますので、是非進めていただければと思います。</p>
6	<p>当該地域の南北交通は整備が進んでおらず、狭隘な生活道路にバス等の大型車両が流入し危険であること、及び交通渋滞や道路の接続の悪さから交通面から不便であること等により、早期の設備促進を求める。</p> <p>人口減の中新しい道路は不要との声もあるが、居住地としての23区の人気は衰えておらず引き続き高い人口推移が見込まれること、また、ネット販売の増加、コンビニ等小口流通の増加により、車両交通の重要度はより高まっていると思われる。</p> <p>構成員の方が地元住民の方にアンケートをとり、80%が反対とのことであり、尊重すべき数字とも思うが、区民全体でみればおそらく賛成が多いのではないかと。</p> <p>区及び東京都全体の交通網としての公共的役割を考慮しぜひ推進願いたい。</p>

7	<p>①武田課長の発言に異議あり。武田課長は“外環 2 の用地は取得できない筈だ”、と指摘した構成員のK氏の発言に対し、“時間をかければ買収できる”と反論したがK氏の発言の根拠である熟成市街地の破壊、永年にわたる多数住民の反対、さらに国・地方財政の逼迫、公共施設の維持管理費の持続可能等々の問題を無視した強弁で、“税金は好き勝手に使ってよいのだ。”という官僚のおごりを強く感じさせるものだった。なお、外環本線よりもはるかに便益が劣る外環 2 が新たに用地を買収して道路をつくる場合のB/Cは全く説明できない筈で、現に、東京都は武蔵野外環 2 訴訟において、原告が要求したB/Cの算出を拒否している。</p> <p>②以前にも指摘したが、国および東京都は、平成 15 年 3 月に、地上部の整備は“地元の意向を踏まえながら、その整備を支援していく。”と文書で宣言している。都はあくまでもわき役である。ネットワークとか防災とかあとづけの理由をふりかざして外環 2 建設をゴリ押しすることは本来できない筈である。猛省を望む。 以上</p>
8	<p>今回、最も印象的であったのは、近藤氏の「古川さんの提案に対する都の対応はいちめでしかない」との指摘であった。拒否するのが前提(都計審への報告内容からみて)としか思えないのに、様々な課題に取り組むように仕向けていて。それを、しかも繰り返している。そのことを近藤氏は言っているのであろう。</p> <p>一方、都の武田課長、安西係長は意見・見解が求められる度に「現在ゼロからご意見をうかがっている段階です」としかいわないようにしている。「それなら、なぜ練馬では進めるのか」ネットワークだといっているのに、その矛盾をこの発言は突いている。地元民の意見をしっかり反映させよ!</p> <p>121 人の意志、町会自治会の判断は重い。井萩町会、井萩 3 丁目町会、さくら町会が最も当事者が多いところである。</p> <p>第 13 回では、古川構成員の提案制度活用に対する再度のいやがらせがありましたね。</p> <p>古川構成員が「廃止提案」に対する都の説明に反論しようとした時、古川構成員が用意していた 2 点の資料が傍聴者には配布されていませんでした。つまり傍聴席を無視したような状態で古川構成員に説明を強要した(司会者発言)のです。杉並の「話し合いの会」は、傍聴者が常に大勢おり、構成員と一体感を持つぐらいに「外環の 2」問題に高い関心を持っています。このような構成員と傍聴者に対するいやがらせは今後一切お断りします。</p>